

選定表 3 (許容外部荷重)

表 B2 許容外部荷重

入力回転数 (r/min)		3000		2000	
枠番	減速比	ラジアル荷重 ^{注1} (N)	スラスト荷重 ^{注2} (N)	ラジアル荷重 ^{注1} (N)	スラスト荷重 ^{注2} (N)
PE10	3	390	195	450	225
	5	490	245	560	280
	9	585	290	670	335
	15	780	390	880	440
	20	800	400	910	455
	25	880	440	880	440
	35	880	440	880	440
PE15	3	780	390	900	450
	5	980	490	1120	560
	9	1180	585	1340	670
	15	1470	735	1670	830
	20	1570	785	1790	895
	25	1670	830	1670	830
	35	1670	830	1900	950
	45	1670	830	1670	830
PE20	3	880	440	1010	505
	5	1080	535	1230	615
	9	1470	735	1680	840
	15	1760	880	2020	1010
	20	1910	955	2180	1090
	25	2060	1030	2060	1030
	35	2060	1030	2340	1170
	45	2060	1030	2060	1030
PE30	3	1370	685	1570	785
	5	1670	830	1900	950
	9	1960	980	2240	1120
	15	2350	1180	2650	1320
	20	2500	1250	2650	1320
	25	2650	1320	2650	1320
	35	3430	1715	3430	1715
	45	3520	1760	3520	1760
81	3530	1765	3530	1765	

注) 1. ラジアル荷重は、出力軸中央に作用した場合の値です。(スラスト荷重 0N)
 2. スラスト荷重は、出力軸中心に作用した場合の値です。(ラジアル荷重 0N)

※ラジアル荷重が出力軸中央以外に作用する場合は、上表の値にラジアル荷重位置係数を乗じて算出ください。

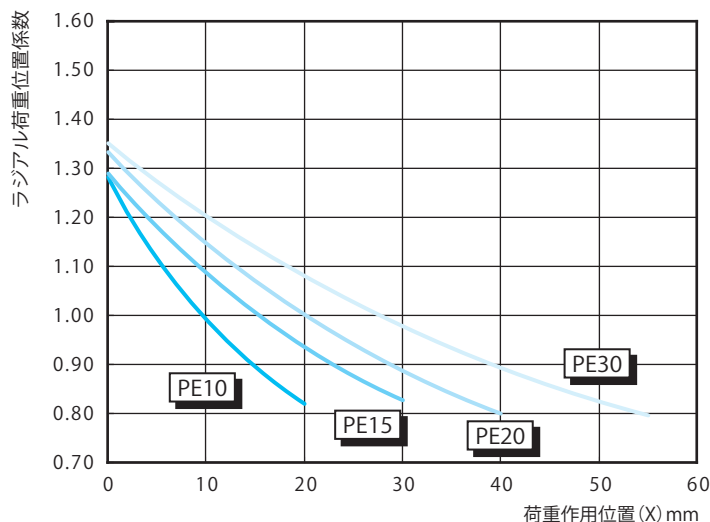


図 B2 ラジアル荷重位置係数

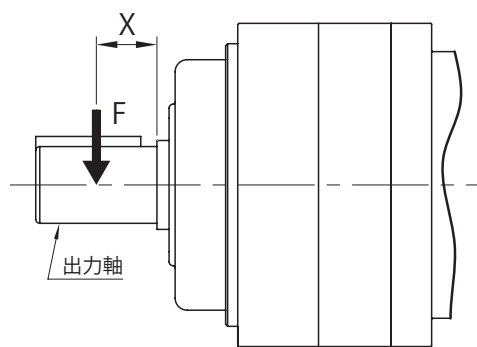


図 B3 ラジアル荷重位置

選定表 3 (許容外部荷重)

出力軸にギヤやプーリを装着する場合は、ラジアル荷重・スラスト荷重が許容値を超えない範囲でご使用ください。
出力軸のラジアル荷重・スラスト荷重は、次式 (①~③) に従って確認をしてください

①ラジアル荷重 Pr

$$Pr = \frac{T\ell}{R} \leq \frac{Pro \cdot Lf}{Cf \cdot Fs1} \text{ [N]}$$

②スラスト荷重 Pa

$$Pa \leq \frac{Pao}{Cf \cdot Fs1} \text{ [N]}$$

③ラジアル荷重とスラスト荷重が共存する場合

$$\left(\frac{Pr}{Pro \cdot Lf} + \frac{Pa}{Pao} \right) \cdot Cf \cdot Fs1 \leq 1$$

Pr : 実ラジアル荷重 [N]

Tℓ : 減速機の出力軸における実伝達トルク [N・m]

R : スプロケット、歯車、プーリ等のピッチ円半径 [m]

Pro : 許容ラジアル荷重 [N] (選定表 3 B19 頁)

Pa : 実スラスト荷重 [N]

Pao : 許容スラスト荷重 [N] (選定表 3 B19 頁)

Lf : ラジアル荷重位置係数 (図 B2 B19 頁)

Cf : 連結係数 (表 B3)

Fs1 : 衝撃係数 (表 B4)

表 B3 連結係数 Cf

連結方式	Cf
チェーン	1.00
歯車	1.25
ベルト	1.50

表 B4 衝撃係数 Fs1

衝撃の程度	Fs1
衝撃がほとんど無い場合	1
衝撃がややある場合	1 ~ 1.2
激しい衝撃を伴う場合	1.4 ~ 1.6